

平成30年2月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

平成29年12月26日

上場会社名 株式会社 シーズメン
 コード番号 3083 URL <http://www.csmen.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 青木 雅夫
 問合せ先責任者 (役職名) 経理情報システム課長 (氏名) 保住 光良

TEL 03-5623-3781

四半期報告書提出予定日 平成30年1月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年2月期第3四半期の業績(平成29年3月1日～平成29年11月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|-------|------|------|---|------|---|--------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 30年2月期第3四半期 | 3,107 | 20.7 | 192 | | 204 | | 600 | |
| 29年2月期第3四半期 | 3,920 | 15.6 | 289 | | 301 | | 451 | |

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 30年2月期第3四半期 | 643.01 | |
| 29年2月期第3四半期 | 571.53 | |

(2) 財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|-------|-------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 30年2月期第3四半期 | 1,882 | 530 | 28.2 |
| 29年2月期 | 2,760 | 1,057 | 38.3 |

(参考)自己資本 30年2月期第3四半期 530百万円 29年2月期 1,057百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 29年2月期 | | 0.00 | | 0.00 | 0.00 |
| 30年2月期 | | 0.00 | | | |
| 30年2月期(予想) | | | | 0.00 | 0.00 |

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年2月期の業績予想(平成29年3月1日～平成30年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|-------|------|------|---|------|---|-------|---|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 4,285 | 18.6 | 205 | | 220 | | 650 | | 688.61 |

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|-------------------|----------|-----------|----------|-----------|
| 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 30年2月期3Q | 975,000 株 | 29年2月期 | 975,000 株 |
| 期末自己株式数 | 30年2月期3Q | 0 株 | 29年2月期 | 185,400 株 |
| 期中平均株式数(四半期累計) | 30年2月期3Q | 933,875 株 | 29年2月期3Q | 789,600 株 |

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき当社が判断したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

なお、業績予想の前提となる条件等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|--------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期損益計算書 | 6 |
| 第3四半期累計期間 | 6 |
| (3) 四半期財務諸表に関する注記事項 | 7 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 7 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 7 |
| (四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) | 7 |
| (セグメント情報等) | 7 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、政府・日銀の政策や、世界的に上向き始めた経済環境を背景に、企業収益は堅調に推移、雇用環境にも改善が見られるなど、緩やかな回復基調が続いております。小売業界におきましては、株高を背景とした富裕層による高額消費や、インバウンド需要の持ち直しなどに好調な推移が見られました。

しかしながら、全般的な消費環境においては、強い節約志向が続いており、個人消費は本格回復に至らず、厳しい経営環境で推移いたしました。

このような状況のもと、当社は、前期末に店舗閉鎖及び従業員削減を主とするリストラを実施し、早期の業績回復を目指して改革を進めました。その結果、当第3四半期累計期間における売上高前年比は79.3%、既存店売上高前年比は93.7%となりました。

既存店売上高が前年を下回る結果となりましたが、四半期ごとの業績は、第1四半期会計期間が苦戦したものの、第2四半期会計期間以降は回復基調となりました。既存店売上高は8月以降、前年を上回って推移しております。

第1四半期会計期間の苦戦につきましては、店舗閉鎖に伴う在庫処分など、前期に実施したリストラの影響を受けたことが主な要因となっております。

具体的施策では、販売面におきましては、毎月の販売戦略(「主力商品」「売場展開」「販促方法」等)の具体的な解説ツールである『販売戦略書』を作成し、各店舗に徹底することにより、全店レベルで販売力の強化・底上げと共通ノウハウの蓄積を進めました。

商品面におきましては、MD機能の強化を図るため、年7シーズンで主力商品を設定するシーズンMD手法を導入、夏物では、TシャツパーカーやヘビーウェイトTシャツ、秋物ではロングカーディガンやデニムシャツなどの戦略商品の投入を行い、好調な販売状況となりました。また、シーズンごとの商品入れ替えをスムーズに進めるため、季節商品の売り切りと、適時適量の商品投入を行った結果、売上総利益率は、前年を0.6ポイント上回る46.4%となりました。

コスト面におきましては、店舗数及び人員数減少による業務の効率化が進み、当第3四半期累計期間の販売費及び一般管理費は前年より4億50百万円減少の16億35百万円となりました。

店舗戦略におきましては、当第3四半期累計期間の出店を抑制、3店舗を閉鎖して、既存店の強化に注力してまいりました。その結果、当第3四半期会計期間末の店舗数は「METHOD」29店舗、「流儀圧搾」18店舗「METHOD COMFORT」1店舗(アウトレット店)、「AGIT POINT」2店舗の合計50店舗となりました。

株式会社ネクスグループとの業務提携につきましては、11月よりレディース商品販売の取組みをスタートしております。

上記の諸施策に加えて、業績回復の更なるスピード化と利益体質の強化を図るべく、当期中に不採算店舗の撤退を実施するため、当第3四半期累計期間におきまして、店舗閉鎖損失50百万円を特別損失に計上いたしました。また、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、周辺環境の変化および経済環境の変化等の影響を受け収益性の低下が見込まれる本社及び店舗の資産について、減損損失3億80百万円を計上した結果、当第3四半期累計期間の特別損失合計は4億35百万円となりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間における売上高は31億7百万円(前年同期比20.7%減)、営業損失は1億92百万円(前年同期比96百万円損失減)、経常損失は2億4百万円(前年同期比96百万円損失減)、四半期純損失は6億円(前年同期比1億49百万円損失増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①財政状態の状況

(資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産は13億49百万円となり、前事業年度末に比べ3億78百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金の減少3億97百万円、売掛金の増加1億5百万円、商品の増加34百万円、未収入金の減少1億17百万円等によるものであります。固定資産は5億27百万円となり、前事業年度末に比べ4億96百万円減少いたしました。これは主に減損処理に伴う有形固定資産の減少3億16百万円、同じく無形固定資産の減少1億8百万円、売却に伴い投資有価証券の減少45百万円、敷金及び保証金の減少21百万円等によるものであります。

この結果、総資産は18億82百万円となり、前事業年度末に比べ8億77百万円減少いたしました。

(負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債は8億47百万円となり、前事業年度末に比べ2億9百万円減少いたしました。これは主に買掛金の増加84百万円、短期借入金の減少1億45百万円、未払費用の減少1億3百万円等によるものであります。固定負債は5億5百万円となり、前事業年度末に比べ1億41百万円減少いたしました。これは主に社債の減少70百万円、長期借入金の減少11百万円、役員退職慰労引当金の減少26百万円、リース債務の減少16百万円等によるものであります。

この結果、負債合計は13億52百万円となり、前事業年度末に比べ3億50百万円減少いたしました。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は5億30百万円となり、前事業年度末に比べ5億26百万円減少いたしました。これは主に利益剰余金の減少6億円、自己株式の処分による株主資本の増加1億50百万円と資本剰余金の減少59百万円等によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年2月期の業績予想予想を修正しております。本件につきましては、本日(平成29年12月26日)公表の「特別損失の計上および業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

| | 前事業年度 (平成29年2月28日) | 当第3四半期会計期間 (平成29年11月30日) |
|-----------------|-----------------------|-----------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 738,862 | 341,581 |
| 売掛金 | 141,493 | 247,120 |
| 商品 | 688,474 | 723,120 |
| 前払費用 | 19,827 | 16,655 |
| 未収入金 | 134,154 | 16,927 |
| その他 | 5,469 | 4,107 |
| 流動資産合計 | 1,728,282 | 1,349,513 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物 | 645,747 | 421,895 |
| 減価償却累計額 | △407,619 | △421,895 |
| 建物（純額） | 238,128 | - |
| 工具、器具及び備品 | 234,594 | 178,461 |
| 減価償却累計額 | △164,327 | △178,461 |
| 工具、器具及び備品（純額） | 70,267 | - |
| リース資産 | 10,316 | 4,539 |
| 減価償却累計額 | △2,063 | △4,539 |
| リース資産（純額） | 8,253 | - |
| 有形固定資産合計 | 316,648 | - |
| 無形固定資産 | | |
| ソフトウェア | 16,438 | - |
| リース資産 | 88,020 | - |
| その他 | 3,800 | - |
| 無形固定資産合計 | 108,258 | - |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 90,634 | 45,430 |
| 長期前払費用 | 5,549 | 374 |
| 敷金及び保証金 | 503,503 | 481,982 |
| 投資その他の資産合計 | 599,687 | 527,786 |
| 固定資産合計 | 1,024,595 | 527,786 |
| 繰延資産 | | |
| 社債発行費 | 7,518 | 5,278 |
| 繰延資産合計 | 7,518 | 5,278 |
| 資産合計 | 2,760,396 | 1,882,578 |

(単位:千円)

| | 前事業年度 (平成29年2月28日) | 当第3四半期会計期間 (平成29年11月30日) |
|---------------|-----------------------|-----------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形 | 69,804 | 41,462 |
| 買掛金 | 158,462 | 243,212 |
| 短期借入金 | 199,000 | 54,000 |
| 1年内償還予定の社債 | 140,000 | 140,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 131,448 | 139,166 |
| リース債務 | 21,788 | 22,264 |
| 未払金 | 48,042 | 50,530 |
| 未払費用 | 227,508 | 123,663 |
| 未払法人税等 | 16,651 | 12,327 |
| 賞与引当金 | 11,602 | 5,600 |
| 設備関係支払手形 | 16,037 | 3,988 |
| 資産除去債務 | 12,366 | 6,506 |
| その他 | 4,321 | 4,460 |
| 流動負債合計 | 1,057,032 | 847,182 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 225,000 | 155,000 |
| 長期借入金 | 129,364 | 117,990 |
| リース債務 | 85,485 | 68,726 |
| 役員退職慰労引当金 | 29,482 | 3,166 |
| 資産除去債務 | 149,175 | 144,339 |
| 繰延税金負債 | 27,562 | 15,801 |
| 固定負債合計 | 646,069 | 505,024 |
| 負債合計 | 1,703,102 | 1,352,206 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 245,000 | 245,000 |
| 資本剰余金 | 415,193 | 356,148 |
| 利益剰余金 | 512,736 | △87,755 |
| 自己株式 | △150,446 | - |
| 株主資本合計 | 1,022,483 | 513,393 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 34,810 | 16,978 |
| 評価・換算差額等合計 | 34,810 | 16,978 |
| 純資産合計 | 1,057,293 | 530,372 |
| 負債純資産合計 | 2,760,396 | 1,882,578 |

（2）四半期損益計算書
（第3四半期累計期間）

（単位：千円）

| | 前第3四半期累計期間 （自 平成28年3月1日 至 平成28年11月30日） | 当第3四半期累計期間 （自 平成29年3月1日 至 平成29年11月30日） |
|--------------|--|--|
| 売上高 | 3,920,809 | 3,107,624 |
| 売上原価 | 2,124,483 | 1,665,326 |
| 売上総利益 | 1,796,325 | 1,442,297 |
| 販売費及び一般管理費 | 2,085,398 | 1,635,095 |
| 営業損失（△） | △289,072 | △192,798 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 9 | 2 |
| 受取配当金 | 455 | 465 |
| 受取補償金 | 608 | - |
| その他 | 363 | 302 |
| 営業外収益合計 | 1,436 | 770 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 11,264 | 9,944 |
| その他 | 2,343 | 2,319 |
| 営業外費用合計 | 13,607 | 12,264 |
| 経常損失（△） | △301,243 | △204,291 |
| 特別利益 | | |
| 役員退職慰労金債務免除益 | - | 13,158 |
| 投資有価証券売却益 | - | 32,294 |
| 特別利益合計 | - | 45,452 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 6,690 | 4,599 |
| 店舗閉鎖損失 | 24,733 | 50,530 |
| 減損損失 | 105,484 | 380,572 |
| 特別損失合計 | 136,908 | 435,702 |
| 税引前四半期純損失（△） | △438,152 | △594,540 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 10,463 | 9,843 |
| 法人税等調整額 | 2,660 | △3,891 |
| 法人税等合計 | 13,124 | 5,951 |
| 四半期純損失（△） | △451,276 | △600,492 |

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成29年4月6日及び平成29年4月11日開催の取締役会において、株式会社ネクスグループを引受先とした第三者割当によるすべての自己株式の処分を実施することを決議し、平成29年5月1日に払込を受けております。この結果、当第3四半期会計期間末において資本剰余金が356,148千円となっております。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期会計期間から適用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期累計期間(自平成28年3月1日 至平成28年11月30日)及び当第3四半期累計期間(自平成29年3月1日 至平成29年11月30日)

当社は、衣料品小売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。